

ミュージックプレーヤーで聞けるヒット曲 一覧

3階 1960年代のヒット曲

年代	曲名	作詞者	歌手	備考
60年	夜がわるい	川内 康範	松尾 和子	とあるバーで飲んでいた吉田は女の子が囁いた「夜が悪いのよ」が印象的でこの曲を作った 編曲:寺岡 真三
60年	潮来笠	佐伯 孝夫	橋 幸夫	橋 幸夫のデビュー作
60年	再会	佐伯 孝夫	松尾 和子	吉田作品の一つの頂点 愛好者が多い 編曲:小沢 直与志
60年	あれが岬の灯だ	佐伯 孝夫	橋 幸夫	橋は「この現代物でデビューしたかった」とあとで本音をいつている
60年	東京カチート	佐伯 孝夫	フランク 永井	この時代の代表作 編曲:寺岡 真三
60年	おけさ唄えば	佐伯 孝夫	橋 幸夫	この作品のヒットにより一連の股旅物シリーズが確立
60年	喧嘩富士	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
60年	木曾ぶし三度笠	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
61年	磯ぶし源太	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
61年	南海の美少年 (天草四郎の唄)	佐伯 孝夫	橋 幸夫	映画主題歌
61年	わが生涯は火の如く	佐伯 孝夫	橋 幸夫+東京合唱隊	
61年	沓掛時次郎	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
61年	すつとび仁義	白崎まさし・ (補)佐伯 孝夫	橋 幸夫	
61年	明日を呼ぶ港	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
61年	東京の美少年	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
61年	俺ら次郎長	北条 誠	橋 幸夫	橋 幸夫ドラマ主演、主題歌も歌う
61年	北海の暴れん坊	佐伯 孝夫	橋 幸夫	ソーラン節の民謡を取り入れたもの 編曲:小沢 直与志
61年	花の兄弟	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
62年	江梨子	佐伯 孝夫	橋 幸夫	「八つの恋のバラード」の一つ
62年	悲恋の若武者	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
62年	寒い朝	佐伯 孝夫	吉永小百合/和田弘とマヒナ・スターズ	
62年	悲しき天使	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
62年	中山七里	佐伯 孝夫	橋 幸夫	大映映画主題歌
62年	草を刈る娘	佐伯 孝夫	吉永 小百合	初めてのレコーディング作品
62年	若いやつ	佐伯 孝夫	橋 幸夫	TBSテレビ連続ドラマ主題歌
62年	美少年忠臣蔵	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
62年	成田の花太郎	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
62年	いつでも夢を	佐伯 孝夫	橋 幸夫/吉永 小百合	レコード大賞を受賞
62年	わが胸に歌は消えず	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
62年	あした逢う人	佐伯 孝夫	橋 幸夫	

62年	霧子のタンゴ	吉田 正	フランク 永井	吉田 正自ら作詞
62年	かわいい花の物語	みずの 稔 (補)佐伯 孝夫	吉永 小百合	吉永のパーソナリティを考えて作られた曲
62年	花の折鶴笠	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
63年	虹子の夢	佐伯 孝夫	和田弘とマヒナ・スターズ/吉永小百合	
63年	太陽の街	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
63年	舞妓はん	佐伯 孝夫	橋 幸夫	京都祇園でよく遊んだ吉田ならではの作品
63年	雨の中に消えて	佐伯 孝夫	吉永 小百合	吉永の個性をととも大切にし吉田は作った
63年	北海の流水	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
63年	お祭り小僧	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
63年	若い東京の屋根の下	佐伯 孝夫	橋 幸夫/吉永 小百合	橋、吉永のゴールデンコンビの二作目
63年	伊豆の踊り子	佐伯 孝夫	吉永 小百合	活映画主題歌
63年	箱根山	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
63年	東京ギター	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
63年	白い制服	佐伯 孝夫	橋 幸夫	ラブ・ロマンスをテーマにしたもの
63年	逢いたくて	佐伯 孝夫	フランク 永井	フランクな永井の歌唱が光った作品
63年	泣きぼくろ	志賀 大介	和田弘とマヒナ・スターズ	
63年	通天閣の灯	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
63年	美しい十代	宮川 哲夫	三田 明	この頃高校進学率が急増
63年	お嬢吉三	佐伯 孝夫	橋 幸夫	橋得意の巻き舌を生かした作品
63年	若い歌声	佐伯 孝夫	橋 幸夫/吉永 小百合	
63年	後追い三味線	吉川 静夫	榎本 美佐江	日本調歌謡の良さを味わえる作品
63年	月夜の渡り鳥	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
63年	みんな名もなく貧しいけれど	宮川 哲夫	三田 明	地方から都会へと集団就職が盛んだった。
64年	冬子という女	佐伯 孝夫	フランク 永井	
64年	赤いブラウス	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
64年	光る海	佐伯 孝夫	吉永 小百合	
64年	友よ歌おう	宮川 哲夫	三田 明	
64年	あゝ特別攻撃隊	川内 康範	橋 幸夫	
64年	国道18号線	宮川 哲夫	フランク永井/松尾和子	日本テレビの連続ドラマの主題歌
64年	若い港	宮川 哲夫	三田 明	
64年	花の舞妓はん	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
64年	そこは青い空だった	佐伯 孝夫	橋幸夫/吉永小百合	ゴールデンコンビの四作目
64年	二人の星をさがそうよ	佐伯 孝夫	田辺 靖雄	田辺の柔らかい声優しい雰囲気は特色があった

64年	ごめんねチョコちゃん	安部幸子 (補)佐伯孝夫	三田 明	チャチャチャのリズムで大盛り上がりだった
64年	わすれられぬ人	美山鋭太郎 (補)佐伯孝夫	橋 幸夫	
64年	青いセーター	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
64年	霧の中の少女	佐伯 孝夫	久保 浩	青春歌謡の名曲
64年	孤剣	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
64年	恋をするなら	佐伯 孝夫	橋 幸夫	リズム歌謡シリーズを確立
64年	高校騎兵隊	川内 康範	三田 明	男性コーラスに軍歌詞のリズムの異色作
64年	ゼッケンNO.1スタートだ	佐伯 孝夫	橋 幸夫	リズム歌謡シリーズ第二作目
64年	愛と死のテーマ	佐伯 孝夫	吉永小百合	吉永の熱唱が胸を打つ作品
64年	若い二人の心齋橋	佐伯 孝夫	吉永小百合/三田明	道頓堀に橋が架け替えられた記念曲
64年	CHE CHE(涙にさよならを)	佐伯 孝夫	橋 幸夫	リズム歌謡三作目
65年	恋物語	佐伯 孝夫	久保 浩	
65年	愛のしあわせ	佐伯 孝夫	橋幸夫/吉永小百合	
65年	妻を恋うる唄	岩谷 時子	フランク永井	日本の歌謡に珍しい夫婦愛の曲
65年	明日は咲こう花咲こう	西沢 爽	吉永小百合/三田明	吉永、三田デュエット二作目
65年	ふたりの夜	佐伯 孝夫	橋 幸夫	橋はこの年15枚もシングルを発売した
65年	あの娘と僕(スイム・スイム・スイム)	佐伯 孝夫	橋 幸夫	踊りの振り付けが付いていた
65年	泣かせてごめんね	白鳥 朝詠	三田 明	三田を大人路線にしようと企画
65年	月の舞妓はん	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
65年	僕のそばには君がいる	水島 哲	三田 明	ジャズの香りを漂わせた曲
65年	東京しぐれ	佐伯 孝夫	フランク 永井	
65年	若い翼	山上 路夫	三田 明	パイロットと管制官の応答を使用
65年	幸せがいっぱい	山上 路夫	田代美代子	
65年	残侠小唄	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
65年	美しい恋人たち	宮川 哲夫	三田 明	若者たちの新しいデートの場所にした作品
66年	哀愁の果てに	佐伯 孝夫	橋 幸夫	
66年	夢みる港	佐伯 孝夫	橋幸夫/吉永小百合	
66年	アイビー東京	白鳥 朝詠	三田 明	VAN、Junなど男性向けのファッションが表舞台となった作品
66年	恋と涙の太陽	佐伯 孝夫	橋 幸夫	リズムはメキシコの民謡マリッチを元にしてある。
66年	恋のアメリッチ	吉田 正	三田 明	メキシコブームにのりマリッチのリズムとロックが融合した作品
66年	恋人ジュリー	佐伯 孝夫	三田 明	三田がアイドルから大人の歌手に成長したと認められた作品
66年	勇気あるもの	佐伯 孝夫	吉永小百合/トニーズ	トニーズのバックコーラスにのった行進曲風の楽しい作品

66年	大阪ろまん	石浜	フランク 永井	大阪をテーマにした曲で作曲も大阪らしいニュアンスを盛り上げている
66年	シンガポールの夜は更けて	佐伯 孝夫	橋 幸夫	コンガのラテン楽器にボレロのリズム、異国情緒一杯の意欲作
67年	殺陣師一代	佐伯 孝夫	橋 幸夫	台詞入りの橋のスケールの大きい歌唱と作品の素晴らしさと相まった作品
67年	名なし草	川内 康範	橋幸夫/ザ・フレッシュメン	日本のグループサウンドの流行を取り入れた作品
67年	カリブの花	山上 路夫	三田 明	三田はファルセット唱法を使い成長ぶりが伺える
67年	恋のメキシカン・ロック	佐伯 孝夫	橋 幸夫	リズム歌謡路線の最後の作品
67年	また逢う日まで	宮川 哲夫	三田 明/キャナリーズ	ポップスを探り入れた作品
67年	東西南北音頭	佐伯 孝夫	橋幸夫/三沢あけみ	日本ビクター創立40周年企画作品
67年	思い出のレコード	佐伯 孝夫	フランク永井/松尾和子/ 吉永小百合/三田明	「東西南北音頭」のB面に収録
67年	恋人の泉	水島 哲	三田 明	前奏のトランペットは世界のトランペッター日野皓正
67年	恋獄のブルース	川内 康範	マハロ・エコーズ	ムードコーラスに仕上げた異色の作品
67年	この恋なくしたら	川内 康範	青江 三奈	青江のハスキーな声の魅力を伝える仕上がりとなっている 編曲:寺岡 真三
67年	長良川夜曲	吉川 静夫	古都 清乃	しっとり感情豊かな名作
67年	夕子の涙	吉田 正	三田 明	銀座を遊び場とする三田、吉田吉田自ら作詞
67年	佐久の鯉太郎	佐伯 孝夫	橋 幸夫	流行のエレキ・ギターサウンドを股旅物に採り入れた作品
67年	ブルー・シャンペン	川内 康範	三田 明	シャンペンが新しい飲み物として流行、それを歌に。
68年	数寄屋橋ブルース	佐伯 孝夫	三田 明	フルハンド・ジャズに乗せてフランク永井路線へのトライ
68年	花太郎笠	佐伯 孝夫	橋 幸夫	8ビート・エレキ・サウンドになり、新鮮な股旅物に仕上げている
68年	初恋こいさん	石浜 恒夫	三田 明	「三田にも大阪物を」と企画
68年	夜明けの二人	佐伯 孝夫	橋 幸夫	トランペットの甘いサウンドに乗った南国情緒豊かなバラード 編曲:一之瀬 義考
68年	加茂川ブルース	東 次郎	フランク 永井	新しいご当地ソングに仕上げられている
68年	薔薇の涙	水島 哲	三田 明	この頃ヨーロッパ・サウンドが流行
68年	おんな酒	井田 誠一	青江 三奈	青江のハスキーな声と独特の唱法が活かされた作品
68年	真珠の恋人	佐伯 孝夫	三田 明	日本にグループ・サウンドが流行し、それを意識した作り
68年	赤い夕日の三度笠	佐伯 孝夫	橋 幸夫	ベースはエレキに変わり新鮮なサウンドになった
68年	ナイト・イン六本木	佐伯 孝夫	三田 明	六本木には外国人が多く、ステイタスな場所となりそれを歌に
68年	串本育ち	吉川 静夫	古都 清乃	串本節が効果的に使われている 編曲:寺岡 真三
68年	乙女川	佐伯 孝夫	橋 幸夫	呉服屋の若旦那役の橋の作品の主題歌
69年	星の三度笠	佐伯 孝夫	橋 幸夫	この頃になると股旅物も少なくなってきた
69年	タートル・ルックのいかす奴	東 次郎	三田 明	東京の流行青山通り沿いに移り始めた時代の作品
69年	今年も来ました渡り鳥	吉川 静夫	ひまわり姉妹	吉田はひまわり姉妹に他のデュエットにない個性を考えて作りあげた
69年	惜別のワルツ	山上 路夫	三田 明	初めての三拍子、吉田のレッスンはいつになく厳しかった
69年	太陽のカーニバル	山上 路夫	三田 明	「気持ちを楽しんで歌うように」と吉田はアドバイスしている
69年	荒野のまごころ	佐伯 孝夫	橋 幸夫	橋、美空ひばりと初共演

69年	思い出はリビ エラのアメ	佐伯 孝夫	橋 幸夫	前年のフランスでのオリンピックの成功をうけ企画
69年	サロマ湖の空	山上 路夫	三田 明	サンパウロをテーマに曲作りの企画が、響きが似たサロマ湖の空になった
69年	女だから	ふじ・こうのす け	青江 三奈	青江の魅力を活かそうとこの曲を作った
69年	あなたの涙	なかにし 礼	三田 明	編曲:寺岡 真三